

**製品名: Stat4 (リン酸化 Tyr693) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05482**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	85kDa

**抗原情報**

遺伝子名	STAT4
別名	STAT4; Signal transducer and activator of transcription 4
遺伝子 ID	6775.0
SwissProt ID	Q14765
免疫原	ヒト Stat4 のリン酸化部位 (リン酸化 Tyr693) 周辺の合成リン酸化ペプチド

**背景**

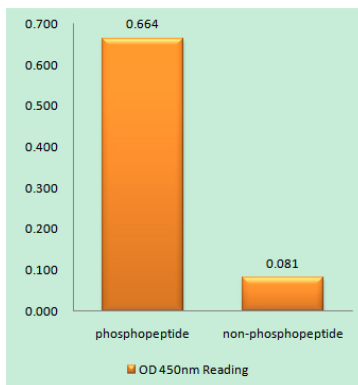
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、転写因子 STAT ファミリーのメンバーです。サイトカインや成長因子に反応して、STAT ファミリーのメンバーは受容体関連キナーゼによってリン酸化され、ホモ二量体またはヘテロ二量体を形成して細胞核に移

行し、そこで転写活性化因子として作用します。このタンパク質は、リンパ球における IL-12 への反応の媒介、およびヘルパー T 細胞の分化制御に不可欠です。この遺伝子の変異は、全身性エリテマトーデスおよび関節リウマチに関連する可能性があります。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2011 年 8 月]、疾患：STAT4 の遺伝的変異は、関節リウマチ (RA) の感受性と関連しています [MIM:180300]。関節リウマチは、複雑な多因子疾患です。これは最も一般的な自己免疫疾患の 1 つであり、滑膜組織の炎症と関節破壊を特徴とする。疾患：STAT4 の遺伝的変異は、全身性エリテマトーデス 11 型 (SLEB11) [MIM:612253] に対する感受性と関連している。全身性エリテマトーデス (SLE) は、複雑な遺伝学的根拠を持つ慢性自己免疫疾患である。SLE は、主に皮膚、関節、腎臓、漿膜の障害を特徴とする、炎症性でしばしば発熱を伴う結合組織の多臓器疾患である。自己免疫系の調節機構の不全を示すと考えられている。機能：シグナル伝達と転写の活性化という 2 つの機能を果たす。IL12 シグナル伝達に関与する。PTM：リン酸化チロシン。セリンリン酸化は転写活性の最大化にも必要である。類似性：転写因子 STAT ファミリーに属する。類似性：1 つの SH2 ドメインを含む。細胞内局在：リン酸化に反応して核内に移行する。サブユニット：関連ファミリーメンバーとホモ二量体またはヘテロ二量体を形成する (類似性による)。SH2 ドメインは、in vitro において、短い細胞質ドメインを介して IL12RB2 と相互作用する。

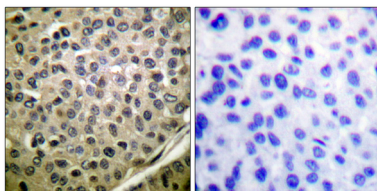
## 研究分野

ジャク\_STAT;

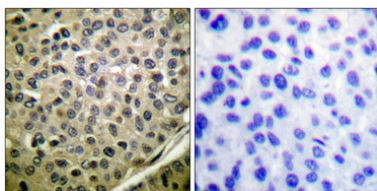
## 画像データ



STAT4 (リン酸化 Tyr693) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



STAT4 (リン酸化 Tyr693) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。右の写真は STAT4 (リン酸化 Tyr693) ペプチドでブロッキングした画像です。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高压高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。